

生まれ育った故郷に感謝 吉川彰さん母校に図書600冊を寄贈



三沢地区下鴨倉出身で、静岡県浜松市在住の吉川彰^{きつかわしやう}さんが、母校である三沢小学校に図書およそ600冊（100万円分）を寄贈されました。吉川さんは、これまで浜松市議、静岡県議会議員などを歴任され、平成14年には藍綬褒章を受章するなど活躍されています。

8月16日、三沢小学校で贈呈式が行われ、吉川さんは「本をたくさん読んで世の中のことをよく知り、日本のため、世界のために頑張っ

てほしい」と話されました。本は「吉川彰文庫」と名付けられ、読書や学習教材として活用されます。

- 【特選賞】
- 首席 矢木伸一郎さん（亀高）
 - 「ゆきざくら4」号
 - 次席 藤原トミ子さん（横田）
 - 「あやざくら1」号
 - 参席 伊帳田力雄さん（横田）
 - 「ふたば2」号
 - 四席 森山義治さん（馬木）

平成十九年度の奥出雲町肉用種牛共進会が九月七日、亀高の仁多中央家畜集会所において開催されました。町内九地区から選抜された十二カ月から二十四カ月齢までの肉用種牛二十四頭が出品され、専門の審査員が個体審査、比較審査を行いました。その結果、次の方が上位入賞されました。

畜産基盤の向上を図る 奥出雲町肉用種牛共進会



特選賞首席の「ゆきざくら4」号と矢木さん

- 五席 郷原代之さん（三成）
 - 「さつき3」号
 - 六席 泰中 満さん（阿井）
 - 「こはるびより」号
- また、団体の部は横田支部が優勝されました。なお、今回の共進会では入賞した六頭は、十月二十八日に松江市宍道町の鳥根中央家畜市場で開催される鳥根県種畜共進会に町の代表として出場します。

本町は県下でも屈指の和牛産地であり、鳥根和牛の主産地として、今後改良増殖が一層図られるものと期待されます。

みんなで頑張った四日間 平成十九年度 吾妻山のびのびキャンプ

吾妻山のすばらしい自然環境の中で、地域や年齢の異なった仲間と日頃はできない生活体験をする「吾妻山のびのびキャンプ」が八月八日から十一日までの三泊四日の日程で行われました。

夏休みの一大会ととして毎年多くの小学生が参加していますが、特に今年には四十名の定員に対して、町内外二十校の小学校から百四名の参加希望がありました。

初日は大峠登山口から大きな荷物を背負いキャンプ場へ向かい、到着すると班別での自己紹介、役割分担を決め、その後、キャンプで使う竹ハシを作りました。

キャンプでは「横田山の会」はじめ多くのスタッフの協力のもと、火おこし、自炊をはじめ星空観察、山頂登山、自然観察、ロープワーク、クラフトなど様々な体験学習が行われました。

三日目の夜には、お楽しみ

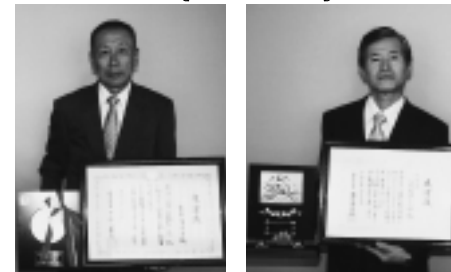


キャンプファイヤーの様子

感謝状贈呈 古市自治会(国土交通大臣)・八川本郷自治会(県知事)

8月24日、鳥根県庁において、道路の安全と愛護等に特に顕著な功績のあった団体に、県知事から感謝状が伝達・贈呈され、本町からは次の2自治会が表彰されました。

古市自治会では、国道314号沿いに花壇を整備し、季節毎に色とりどりの花を咲かせ、道路利用者に楽しさと安らぎを与え、継続的な道路美化に貢献されたことが高く評価され国土交通大臣から感謝状が伝達されました。また、八川本郷自治会では、国道314号並びに主要地方道上阿井八川線を中心に街路樹の手入れ、空缶拾いなど道路美化、清掃活動を行い、県知事から感謝状が贈呈されました。



古市自治会

八川本郷自治会

岸本クラさん 「おしゃれで凜とした健康超寿者」表彰

九月六日、鳥根県の「おしゃれで凜とした健康超寿者」として県内で四人が受賞され、本町では、今年一月に満百歳を迎えられた岸本クラさん（八川）に県知事から表彰状と記念品が贈られました。

クラさんは、とてもお元気で、身の回りのことはほとんど自分でし、生き生きと自立した生活を送られています。

元気の源は、おいしい水と仁多米。また、大の巨人軍ファンで、知事と野球の話で盛り上がりおられました。



知事と懇談する岸本クラさん



たくさんアメが取れたかな？（鳥上地区）



カ一杯引け！（馬木地区）

鳥上・馬木地区で地区民体育大会

九月二日の日曜日、鳥上と馬木地区で地区民体育大会が行われました。

会場では多くの種目が行われ、子供から大人まで心地よい汗を流し、会場は一日中賑やかな声が響いていました。

日タイ修好120周年記念 タイ ロイエット県から訪問団



交流会の様子(タイ舞踊の披露)

タイ東北部（首都バンコクから東北に五百二十キロ）のロイエット県文化使節団の一行が、八月四日から二泊三日の日程で奥出雲町を訪れました。

訪れたのは、ロイエット県のピイラワット・チェンワリン副知事やロイエット市長をはじめ小学生から高校生までの生徒を含む三十六人です。

この交流は、旧横田町で平成六年から行われていた、そろばんを活かしたタイとの国際協力、交流活動の一環として、町民有志の団体である「奥出雲横田タイクラブ」が事業主体となって行われています。

今年、日タイ修好百二十年

周年の節目の年で、使節団を招くのは、今回が四年ぶり四回目となります。

四日に雲州そろばん伝統会館で歓迎会があり、その後地元小・中学生とのそろばん交流やぶどう狩り、トロツコ列車乗車などを体験しました。

また、五日の夜には横田コミュニティセンターで親善文化交流が行われ、タイ舞踊の美しい踊りや迫力のあるテコンドーが披露され、互いに友好を深めました。

奥出雲町横田タイクラブでは「今後もたくさんの文化交流を通して、ロイエット県との結びつきを大切にしていきたい」と話していました。